

基礎研修Ⅱ修了者 各位

公益社団法人青森県社会福祉士会

会長 納谷 むつみ

(公印省略)

2024年度基礎研修Ⅲ開催のお知らせ

時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

社会福祉士会では、会員が倫理綱領に基づいた相談援助活動が行うことができるように必要な知識・技術の専門性と倫理性を常に向上させるため、生涯研修制度を設けています。生涯研修制度は基礎課程と専門課程から構成されており、基礎課程は基礎研修Ⅰ、基礎研修Ⅱ、基礎研修Ⅲの順に修了することで、専門課程に進みます。

基礎研修は、社会福祉士としての自己研鑽を保障し研修を通じて会員相互の連携を図る目的で行われ、認定社会福祉士・成年後見人・独立型社会福祉士等を目指す方には必須の研修となっています。

この度、下記のとおり2024年度基礎研修Ⅲを開催することとなりました。つきましては受講を希望される場合は、別添の開催要項を参照のうえ、専用申込フォームよりお申込みください。

みなさまの積極的な受講申し込みをお願いします。

記

1. 実施日程及び実施方法

別紙「2024年度青森県社会福祉士会基礎研修Ⅲ開催要項」のとおり

2. 基礎研修Ⅲ受講の対象者

2023年度までに基礎研修Ⅱを修了した社会福祉士会会員

3. 受講費について

30,000円（テキスト代別。テキスト、ワークブックは各自購入）

4. 申し込み締切 2024年4月10日（水）

※専用フォームからの申し込みとします

5. その他

認定社会福祉士の登録は、基礎研修Ⅲまでを6年間で修了することが要件ですが、生涯研修制度としては、修了に年限はありません。

(公社) 青森県社会福祉士会 事務局
〒030-0822 青森市中央3丁目20-30
県民福祉プラザ5階 担当：今・馬場
TEL 017-723-2560 FAX 017-752-6877
E-mail : aacsw@nifty.com

2024年度青森県社会福祉士会基礎研修Ⅲ

開催要項

1 基礎研修Ⅲの目標

社会福祉士として共通に必要な知識・技術をふまえた、実践の展開を学ぶ

2 基礎研修Ⅲの到達目標

- ①社会福祉士としての権利擁護実践の基礎を理解する
- ②ソーシャルワークの理論をふまえた援助システムを理解する
- ③地域福祉システムと実践の関係を理解する
- ④事例研究の基礎を理解する
- ⑤スーパービジョンを体験する

3 受講対象者

社会福祉士会会員であって、基礎研修Ⅱを修了した者

4 定員

30名（申込者が少ない場合は開催しないことがあります）

5 実施日程及び会場

別紙「2024年度青森県社会福祉士会基礎研修Ⅲ日程表」のとおり （全日程集合研修）

6 研修テキスト等

6 研修テキスト等

下記テキストを使用いたしますので各自でご準備ください

テキスト購入ホームページ （公社）日本社会福祉士会（jacs-sw-shop.com）

日本社会福祉士会編集「基礎研修テキスト」（上巻・下巻） 2021年改訂版

同「基礎研修Ⅲワークブック」 2024年度版 ※4月1日より販売予定

※上記テキストの従前版をお持ちの方は補足資料を必要に応じて無償で提供します。

7 受講及び修了条件◇

- (1) すべての日程、科目を受講できること。（過年度に一部を受講済みの場合は、未受講分のみで可）
業務等のやむを得ない理由により一部の日程を受講できない場合は、次のとおりとなります。
 - 1) 他都道府県士会主催研修で、当該研修内容を受講する。
（事務局から東北及び北海道の研修日程を情報提供できます。）
 - 2) 来年度以降に、当該研修内容を受講する。
- (2) 提示された課題（事前課題、事後課題）を期日までに提出すること。
- (3) 遅刻、早退、欠席をしないこと。15分以上の遅刻、早退は欠席となります。

8 受講料 30,000円 (テキスト代、ワークブック代別)

※科目未修了により一部科目のみ受講の場合は、一日あたり3,000円

受講料は、受講決定通知書(4月17日頃発送予定)に同封された振替用紙又はATM等により、指定口座に振り込みとなります。

受講料納付期限：2023年5月8日(水)

なお、主催者側の都合で中止した場合は後日返金しますが、発熱・体調不良等の受講者側の都合で参加できない場合は返金しません。また、研修日程開始後のキャンセルにつきましても返金しません。

9 受講申し込み、受講料の納付方法及び期限

専用申込フォームにて、必要事項を入力の上お申込みください。

申込締切日：2023年4月10日(水)

<専用申込フォーム>



次のURL (または右のQR) にアクセスして、必要事項を入力して送信してください。

<https://forms.gle/haNndKA9QpQcr33Q7>

～上記より、申し込みされる際の手順～

- ①申し込みフォーム(上記Googleフォーム)にアクセスする。
- ②必要事項を記入し、送信する。※必要事項を記入しないと送信できません。
注意：メールアドレスの登録は正確にお願いします。
⇒「お申込みありがとうございます。」と自動的にメールが返信されます。
- ③上記の返信が確認できれば申し込みが完了されています。

申込確認後、受講決定通知書を発送します。(4月17日頃発送予定)

10 申し込み・問い合わせ先

公益社団法人青森県社会福祉士会事務局 担当：今・馬場
〒030-0322 青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ 5階
TEL:017-723-2560 FAX:017-752-6877
E-mail:aacsw@nifty.com

基礎研修Ⅲのご案内

基礎研修Ⅲは、生涯研修制度における共通専門科目のうち6科目となります。すべての科目において科目修了レポートが課せられます。ワークブックに、事前課題・中間課題・修了課題についての記載がありますので、課題内容については各自でご確認ください。

各自、研修実施プログラムを確認しながら、都道府県社会福祉士会で指定する事前課題提出締切日までに課題を提出し、集合研修を受講してください。

■『基礎研修テキスト』について

- 基礎研修の講義のうち、認定社会福祉士認証・認定機構で認証された科目（権利擁護・法学系科目Ⅰ、地域開発・政策系科目Ⅰ、サービス管理・経営系科目Ⅰ、実践評価・実践研究系科目Ⅰ、人材育成系科目Ⅰ、ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ）の各講義では、このワークブックとあわせて『基礎研修テキスト』を使用します。講義の資料は『基礎研修テキスト』に掲載されており、このワークブックには掲載されていません。

下記テキストを使用いたしますので各自でご準備ください。

テキスト購入ホームページ [（公社）日本社会福祉士会 \(jacsw-shop.com\)](http://www.jacsw-shop.com)

日本社会福祉士会編集「基礎研修テキスト」（上巻・下巻） 2021年改訂版

同「基礎研修Ⅲワークブック」 2024年度版

ワークブック 2024年度版は、4月1日より日本社会福祉士会テキスト購入ページで販売予定です。

※上記テキストの従前版をお持ちの方は補足資料を必要に応じて無償で提供します。

■事前課題等の提出について

- 事前課題については、集合研修時に提出していただきます。
- 各種課題様式は、指定の様式がある場合は青森県社会福祉士会ホームページ会員専用ページにアップしておりますので、各自でご確認ください。

※レポート形式のものには様式を用意しておりません。その際は、任意の様式で提出ください。

青森県社会福祉士会ホームページ内「会員専用ページ」

<http://www.aacsw.or.jp/member/index.html>

アクセス ユーザー名：aacsw

パスワード：6102wscaa9

- また、都度事前課題・中間課題・修了課題の案内は行いません。各自で都度ワークブックを確認していただくようお願い申し上げます。

■科目修了レポートについて

- ・ 科目修了レポートは、各科目の到達目標の70%に到達しているかについて判定します。到達目標の70%に達していないと判断された場合には、再提出あるいは目標未達成による不合格となる場合があります。
- ・ 科目修了レポートは、必ず各科目の定められた提出期限までに、提出してください。

各科目の到達目標

科目名	到達目標
ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	3つの対象レベル（個人・地域・組織）において、ソーシャルワークの実践理論に基づき、対象の統合的な理解・把握、アセスメントができる。 ソーシャルワークの理論・モデルと結び付けて、自身の実践の計画・振り返り・改善を行う。
権利擁護・法学系科目Ⅰ	社会福祉サービス・社会保障制度の利用にかかる法的な構造について説明できる。 典型的な法的権利侵害場面に対して、利用者の法的権利の侵害を防止・回復する方法について説明できる。
人材育成系科目Ⅰ	所属組織におけるソーシャルワーク業務の内容及び社会福祉士の役割について系統的に説明できる。組織における後進育成の役割、職能としての後進育成の意味を理解し、自組織のソーシャルワーク業務・役割を理解させるための新人研修・実習プログラムを作成できる。
サービス管理・経営系科目Ⅰ	組織の枠組みを踏まえサービス管理・改善等を行う場合の働きかけ先・方法・タイミング等を理解している。 他職場のサービス管理の方法を知ることによって所属組織のサービス管理方法を相対化し、改善課題を把握できる。
地域開発・政策系科目Ⅰ	所属組織が所在する地域の福祉システムを把握している。地域の生活課題、福祉ニーズを踏まえて、地域における自組織の役割について説明できる。 地域の課題やニーズ、社会資源についてアセスメントできる。アセスメントに基づいて、地域介入の目標と方法を選ぶことができる。
実践評価・実践研究系科目Ⅰ	自身の実践の経過、判断・行動の根拠、成果と課題について記述し、説明できる。 自身の実践について適切な研究方法を用いて評価ができる。評価から得た知見を発表できる。

認定社会福祉士認証・認定機構「認定社会福祉士制度 研修認証基準細則 別表2」より抜粋